

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公表番号】特表2018-535600(P2018-535600A)

【公表日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-524219(P2018-524219)

【国際特許分類】

H 04 W 16/14 (2009.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 W 74/02 (2009.01)

H 04 L 27/26 (2006.01)

【F I】

H 04 W 16/14

H 04 W 72/04 1 1 1

H 04 W 74/02

H 04 L 27/26 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月20日(2019.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信の方法であって、

無線周波数(RF)スペクトル帯域のマルチプルなサブバンドにわたって動作するチャネル上で、クリアチャネルアセスメント(CCA)プロシージャを実施することと、

前記実施されたCCAに少なくとも部分的に基づいて、前記チャネルが利用可能であると決定することと、および

マルチプルなサブバンドにわたって動作する前記チャネル中で、特殊ヘッダを送信することと、ここにおいて、前記特殊ヘッダが2つまたはそれ以上の送信時間間隔(TTI)を備え、各TTIは2つまたはそれ以上のサブバンドの各々中でヘッダパケットを備える

、  
を備える、方法。

【請求項2】

第1の電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドの各々にわたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの第1のTTIを送信することと、および

異なる電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドにわたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの1つまたは複数の後続のTTIを送信することと  
をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の電力レベルは前記異なる電力レベルよりも小さい、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記ヘッダパケットは自己への送信可フレーム構造を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記RFスペクトル帯域の前記2つまたはそれ以上のサブバンド中で、1つまたは複数

の追加のヘッダパケットを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記追加のヘッダパケットの各々は、前記第1の電力レベルまたは前記異なる電力レベルにおいて送信される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記1つまたは複数の追加のヘッダは後続のサブフレームの境界において同期的に送信される、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記RFスペクトル帯域の各サブバンドにわたって、連続パターンにおいて前記ヘッダパケットを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記連続パターンは前記CCAに少なくとも部分的に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記RFスペクトル帯域の各サブバンドにわたって、非連続パターンにおいて前記ヘッダパケットを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記非連続パターンは前記CCAに少なくとも部分的に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

第1の事業者に関する第1の時間および第2の事業者に関する第2の時間において、前記特殊ヘッダを送信することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記第1の時間は前記第2の時間とは異なる、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記特殊ヘッダは、第1の事業者に関する第1の構成および第2の事業者に関する第2の構成のものである、請求項1に記載の方法。

【請求項12】

前記ヘッダパケットはワイヤレスフィデリティ(Wi-Fi)フレーム構造を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

ワイヤレス通信のための装置であって、請求項1ないし12のいずれか一項に記載の方法を実施するための手段を備える、装置。

【請求項14】

ワイヤレス通信のためのコードを記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記コードは、請求項1ないし12のいずれか一項に記載の方法の全てのステップを実施するために実行可能な命令を備える、非一時的コンピュータ可読媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0101

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0101】

[00108]添付の図において、同様のコンポーネントまたは特徴は同じ参照ラベルを有し得る。さらに、同じタイプの様々なコンポーネントは、参照ラベルの後に、ダッシュとおよび同様のコンポーネントを区別する第2のラベルを続けることによって区別され得る。第1の参照ラベルのみが本明細書において使用される場合、その記述は、第2の参照ラベルにかかわらず、同じ第1の参照ラベルを有する同様のコンポーネントのいずれにも適用可能である。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1] ワイヤレス通信の方法であって、

無線周波数(RF)スペクトル帯域のマルチプルなサブバンドにわたって動作するチャネル上で、クリアチャネルアセスメント(CCA)プロシージャを実施することと、  
前記チャネルは前記実施されたCCAに少なくとも部分的に基づいて、利用可能であると決定することと、および

マルチプルなサブバンドにわたって動作する前記チャネル中で、特殊ヘッダを送信することと、ここにおいて、前記特殊ヘッダが2つまたはそれ以上の送信時間間隔（TTI）を備え、各TTIは2つまたはそれ以上のサブバンドの各々中でヘッダパケットを備える、を備える、方法。

[C2] 第1の電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドの各々にわたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの第1のTTIを送信することと、および

異なる電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドにわたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの1つまたは複数の後続のTTIを送信することとをさらに備える、C1に記載の方法。

[C3] 前記第1の電力レベルは前記異なる電力レベルよりも小さい、C2に記載の方法。

[C4] 前記ヘッダパケットは自己への送信可フレーム構造を備える、C1に記載の方法。

[C5] 前記RFスペクトル帯域の前記2つまたはそれ以上のサブバンド中で、1つまたは複数の追加のヘッダパケットを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記追加のヘッダパケットの各々は、前記第1の電力レベルまたは前記異なる電力レベルにおいて送信される、C1に記載の方法。

[C6] 前記1つまたは複数の追加のヘッダは後続のサブフレームの境界において同期的に送信される、C5に記載の方法。

[C7] 前記RFスペクトル帯域の各サブバンドにわたって、連続パターンにおいて前記ヘッダパケットを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記連続パターンは前記CCAに少なくとも部分的に基づく、C1に記載の方法。

[C8] 前記RFスペクトル帯域の各サブバンドにわたって、非連続パターンにおいて前記ヘッダパケットを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記非連続パターンは前記CCAに少なくとも部分的に基づく、C1に記載の方法。

[C9] 第1の事業者に関する第1の時間および第2の事業者に関する第2の時間において、前記特殊ヘッダを送信することをさらに備える、C1に記載の方法。

[C10] 前記第1の時間は前記第2の時間とは異なる、C9に記載の方法。

[C11] 前記特殊ヘッダは、第1の事業者に関する第1の構成および第2の事業者に関する第2の構成のものである、C1に記載の方法。

[C12] 前記ヘッダパケットはワイヤレスフィデリティ（Wi-Fi）フレーム構造を備える、C1に記載の方法。

[C13] ワイヤレス通信のための装置であって、  
プロセッサと、

前記プロセッサと電子通信しているメモリと、および

前記メモリに記憶され、前記プロセッサによって実行されるとき、前記装置に、無線周波数（RF）スペクトル帯域のマルチプルなサブバンドにわたって動作するチャネル上で、クリアチャネルアセスメント（CCA）プロシージャを実施することと、

前記チャネルは前記実施されたCCAに少なくとも部分的に基づいて、利用可能であると決定することと、および

マルチプルなサブバンドにわたって動作する前記チャネル中で、特殊ヘッダを送信することと、ここにおいて、前記特殊ヘッダが2つまたはそれ以上の送信時間間隔（TTI）を備え、各TTIは2つまたはそれ以上のサブバンドの各々中でヘッダパケットを備える、を行わせるように動作可能な命令とを備える、装置。

[C14] 前記命令は、前記プロセッサによって実行されるとき、前記装置に、

第1の電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドの各々にわたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの第1のTTIを送信することと、および

異なる電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドにわたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの1つまたは複数の後続のTTIを送信することとを行

わせるように動作可能である、C 1 3 に記載の装置。

[ C 1 5 ] 前記第1の電力レベルは前記異なる電力レベルよりも小さい、C 1 4 に記載の装置。

[ C 1 6 ] 前記ヘッダパケットは自己への送信可フレーム構造を備える、C 1 3 に記載の装置。

[ C 1 7 ] 前記命令は、前記プロセッサによって実行されるとき、前記装置に、  
前記RFスペクトル帯域の前記2つまたはそれ以上のサブバンド中で、1つまたは複数  
の追加のヘッダパケットを送信することを行わせるように動作可能であり、ここにおいて  
、前記追加のヘッダパケットの各々は、前記第1の電力レベルまたは前記異なる電力レベ  
ルにおいて送信される、C 1 3 に記載の装置。

[ C 1 8 ] ワイヤレス通信のための装置であって、  
無線周波数(RF)スペクトル帯域のマルチプルなサブバンドにわたって動作するチャ  
ネル上で、クリアチャネルアセスメント(CCA)プロシージャを実施するための手段と  
、

前記チャネルは前記実施されたCCAに少なくとも部分的に基づいて、利用可能である  
と決定するための手段と、および

マルチプルなサブバンドにわたって動作する前記チャネル中で、特殊ヘッダを送信する  
ための手段と、ここにおいて、前記特殊ヘッダは2つまたはそれ以上の送信時間間隔(T  
TI)を備え、各TTIは2つまたはそれ以上のサブバンドの各々中でヘッダパケットを  
備える、を備える、装置。

[ C 1 9 ] 第1の電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドの各々に  
わたって、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの第1のTTIを送信するための手段  
と、および異なる電力レベルにおいて、前記2つまたはそれ以上のサブバンドにわたって  
、前記2つまたはそれ以上のTTIのうちの1つまたは複数の後続のTTIを送信するた  
めの手段とをさらに備える、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 0 ] 前記第1の電力レベルは前記異なる電力レベルよりも小さい、C 1 9 に記載  
の装置。

[ C 2 1 ] 前記ヘッダパケットは自己への送信可フレーム構造を備える、C 1 8 に記載  
の装置。

[ C 2 2 ] 前記RFスペクトル帯域の前記2つまたはそれ以上のサブバンド中で、1つ  
または複数の追加のヘッダパケットを送信するための手段をさらに備え、ここにおいて、  
前記追加のヘッダパケットの各々は、前記第1の電力レベルまたは前記異なる電力レベル  
において送信される、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 3 ] 前記1つまたは複数の追加のヘッダは後続のサブフレームの境界において同  
期的に送信される、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 4 ] 前記RFスペクトル帯域の各サブバンドにわたって、連続パターンにおいて  
前記ヘッダパケットを送信するための手段をさらに備え、ここにおいて、前記連続パター  
ンは前記CCAに少なくとも部分的に基づく、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 5 ] 前記RFスペクトル帯域の各サブバンドにわたって、非連続パターンにお  
いて前記ヘッダパケットを送信するための手段をさらに備え、ここにおいて、前記非連続パ  
ターンは前記CCAに少なくとも部分的に基づく、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 6 ] 第1の事業者に関する第1の時間および第2の事業者に関する第2の時間に  
において、前記特殊ヘッダを送信するための手段をさらに備える、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 7 ] 前記第1の時間は前記第2の時間とは異なる、C 2 6 に記載の装置。

[ C 2 8 ] 前記特殊ヘッダは、第1の事業者に関する第1の構成および第2の事業者に  
に関する第2の構成のものである、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 9 ] 前記ヘッダパケットはワイヤレスフィデリティ(Wi-Fi)フレーム構造  
を備える、C 1 8 に記載の装置。

[ C 3 0 ] ワイヤレス通信のためのコードを記憶する非一時的コンピュータ可読媒体で  
あって、前記コードは、

無線周波数（R F）スペクトル帯域のマルチプルなサブバンドにわたって動作するチャネル上で、クリアチャネルアセスメント（C C A）プロシージャを実施することと、

前記チャネルは前記実施されたC C Aに少なくとも部分的に基づいて、利用可能であると決定することと、および

マルチプルなサブバンドにわたって動作する前記チャネル中で、特殊ヘッダを送信することと、ここにおいて、前記特殊ヘッダは2つまたはそれ以上の送信時間間隔（T T I）を備え、各T T Iは2つまたはそれ以上のサブバンドの各々中でヘッダパケットを備える、を行うために実行可能な命令を備える、非一時的コンピュータ可読媒体。